

## (9) 中国



中国地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更)

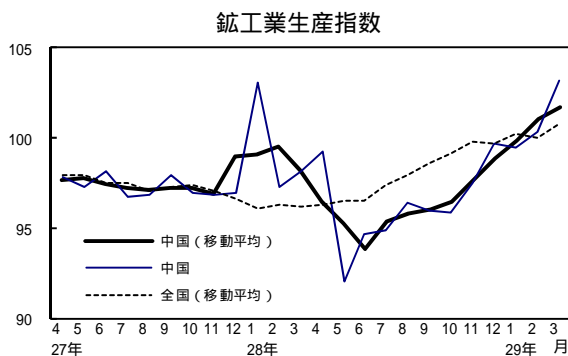
### 前回調査からの主要変更点

	前回(平成29年2月)	今回(平成29年5月)	
鉱工業生産	持ち直しの動き	持ち直し	
住宅建設	大幅に増加	おおむね横ばい	

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

1～3月期には、輸送機械は、北米向け輸出等の影響により減少した。化学は、前期の設備定修の反動等により増加した。はん用・生産用・業務用機械は、アジア向け輸出が増加したこと等から増加した。鉄鋼は、国内需要が堅調であったこと等から増加した。電子部品・デバイス、国内・欧州向け車載用の生産が増加したこと等から増加した。



- (備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。  
2. 全国及び中国の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

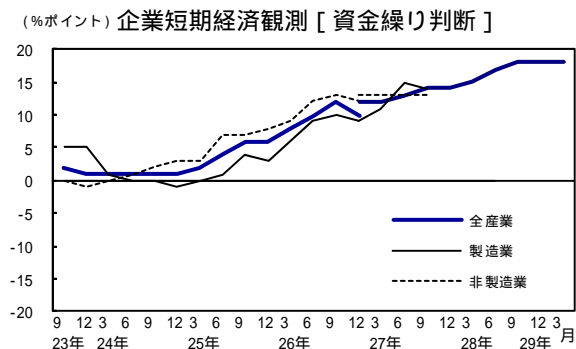
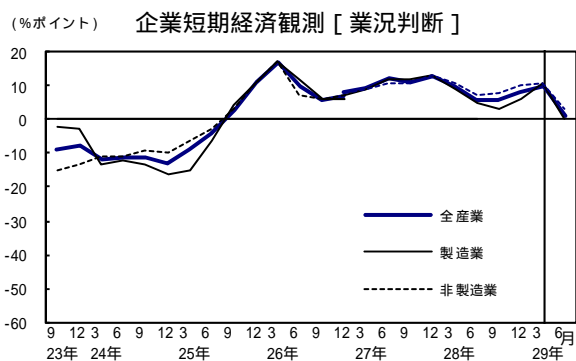
	付加価値 ウェイト	生産				
		10～12 月期	1～3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	23.5	1.1	0.1	0.7	6.7	11.0
化学	16.4	1.8	10.4	0.5	2.3	4.8
はん用・生産用・業務用機械	11.2	4.1	2.1	1.1	4.9	3.9
鉄鋼	7.7	0.3	1.2	2.4	3.5	2.3
電子部品・デバイス	7.1	4.2	1.5	5.3	14.5	9.2
鉱工業	100.0	2.0	3.4	0.2	0.8	2.9

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 1～3月期、3月は速報値。

(9) 中国

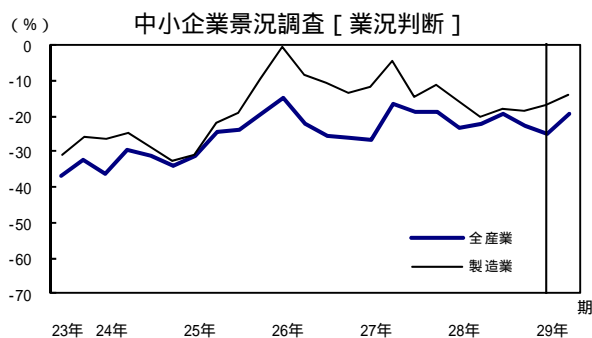
(2) 業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年6月は予測。  
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
26年12月は新・旧基準を併記。

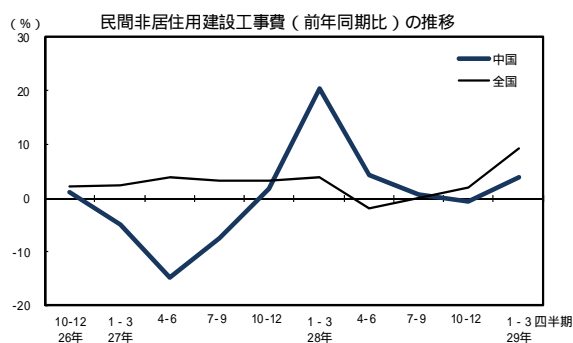


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「取引先で前年度増収との話題があがるものの、IT関連について大きな設備投資の引き合いは少なく、現状維持での商談が多い(通信業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査[設備投資(3月調査)]

	(前年度比、%)	
	28年度実績見込み	29年度計画
全産業	9.2 ( 7.6 )	0.8
製造業	19.8 ( 3.0 )	4.8
非製造業	4.3 ( 14.2 )	5.7

(備考)( )は前回(12月)調査比修正率。

## 2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.6%増、2月は同1.5%増、3月は同0.7%減となった。

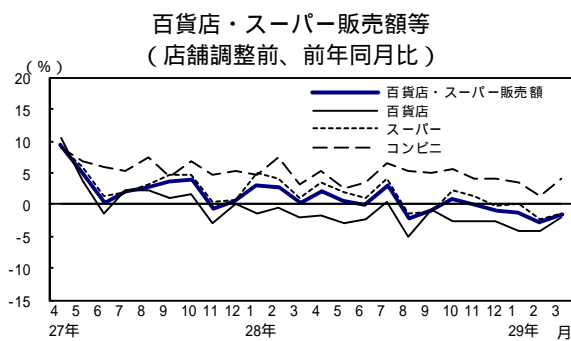
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1～3月期は、催事やバレンタインで飲食料品の売行きが良かったものの、春物の衣料品が振るわなかったことに加え、大雪で客足が遠のき全体としては前年を下回った。

スーパーは、風邪対策の機能性飲料のほか、花粉症関連のマスクなどの売れ行きは良かったものの、青果の単価が下がり、売上げが減少したことなどから全体としては前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果)[家計動向関連 (現状)]

「陽気が良くなってきたため客は外出する機会が増えているものの、節約志向に変化はない (美容室)」などの回答がみられた。



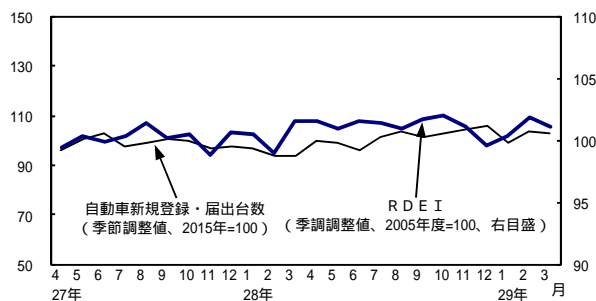
	29年1-3月	29年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.2	0.6	1.5	0.7
百貨店・スーパー(*2)	1.8	1.2	2.8	1.6
百貨店(*2)	3.4	4.2	4.1	2.1
スーパー(*2)	1.2	0.0	2.3	1.3
コンビニ(*2)	3.1	3.6	1.4	4.1
乗用車(*3)	7.8	3.3	9.3	9.5
(季節調整値)(*3)	2.4	6.7	5.0	0.4

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

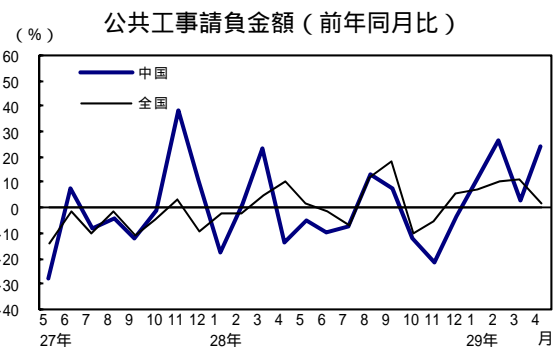
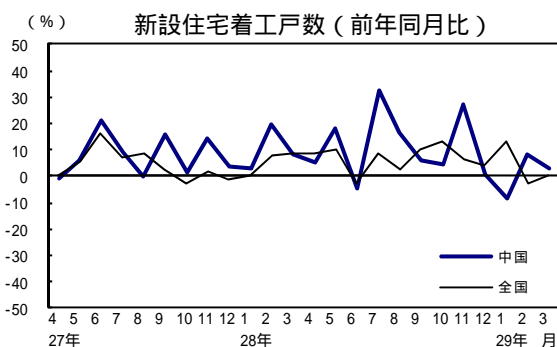
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

RDEI (消費)と自動車新規登録・届出台数の推移



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。  
全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は28年度累計で見るとほぼ同水準となっている。



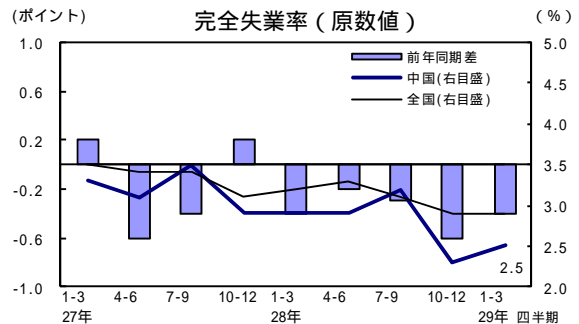
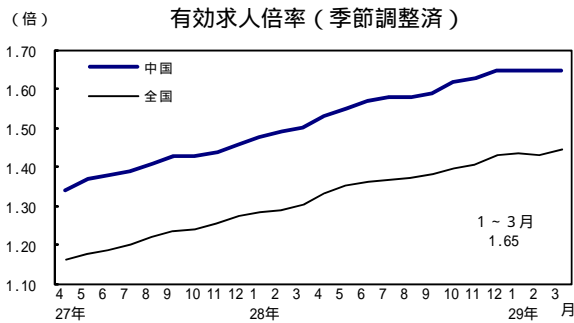
(9) 中国

3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (4月調査結果)[雇用関連 (現状)]

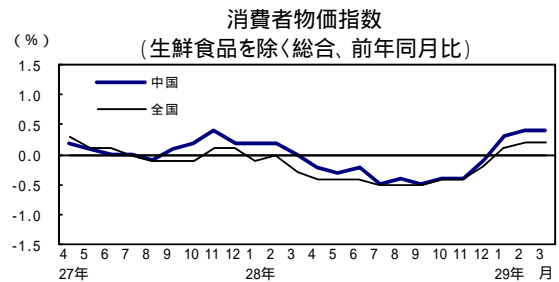
「採用活動では企業から学生や大学への熱心なアプローチが続いているとともに、マスメディアが発表する採用動向でも大幅な採用数減少などの情報は見受けられない(学校[大学])」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は大幅に増加している。

(3) 消費者物価指数は上昇に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年4-6月	7-9月	10-12月	29年1-3月	29年4月
倒産件数	90	93	74	93	24
(前年比)	2.2	6.9	12.9	2.2	9.1
負債総額	145	122	575	567	36
(前年比)	11.3	34.5	338.8	267.9	1.3



景気ウォッチャー調査 (4月調査結果)[合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・自動車向けと家電向けの需要は旺盛で、一部ではフル生産を継続している(非鉄金属製造業)

<先行き>

・当面は系列の地元自動車部品メーカーの受注が高水準を維持する(金融業)

景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

